

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門

言語学

試験科目

言語学

科目

問1 以下の表は、系統関係にある言語 A・B・C における、同語源の語を例示したものである。当該の 6 語（語 1～6）の音形の観点から、祖語により近い言語は A・B・C のいずれであると推測されるかを、根拠とともに述べなさい。

なお、母音記号に後続する[:]は当該の母音が長いことを表し、[d̄]と[t̄]はそれぞれ英語の John と China の語頭子音を表す。

	言語 A	言語 B	言語 C	訳
語 1	ad̄	a:t̄	o:t̄	空腹な
語 2	a:t̄	a:t̄	o:t̄	開ける
語 3	ad	art	ot	名前
語 4	at	at	ot	馬
語 5	ud̄	u:t̄	u:t̄	末端
語 6	u:t̄	u:t̄	u:t̄	飛ぶ

問2 現代日本語の話し言葉で用いられる以下の動詞形式について、形態・意味・歴史変化の観点から解説しなさい。

帰る 帰れる 帰られる
 変える 変えられる 変えられる

問3 任意の言語を一つ取り上げ、その言語における他の一言語からの借用語（loanword）の具体例を 10 語程度挙げるとともに、それらにみられる特徴を音韻論的観点から述べなさい。

問4 以下の術語のうち 2 つを選び、それぞれ 4 行程度で説明しなさい。

- i 最小対 (minimal pair)
- ii 派生 (derivation) と複合 (compounding)
- iii 二次的調音 (secondary articulation)
- iv 使用域 (register)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学分野

試験科目 科目

以下の問題 1～問題 6 の中から 4 問を選び、答案用紙に解答しなさい。答案用紙は、1 問につき 1 枚を使用すること。

問題 1

A) 一般的に、以下の (1) (2) (3) は自然な文、(4) (5) は非文と判断される。その理由を説明しなさい。

- (1) 運動を始めました。
- (2) 通話を始めました。
- (3) 勉強を始めました。
- (4) ボールを始めました。
- (5) 教科書を始めました。

B) 以下の (6) (7) が発話された場合、理解が可能である。どのように理解され得るか、各例について、複数の解釈を説明しなさい。

- (6) ピアノを始めました。
- (7) スマホを始めました。

C) A) の (4) (5) が発話された場合、どのようなコンテキスト (文脈) であれば、解釈が可能になるか、説明しなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学分野

試験科目 科目

問題 2

日本語の指示詞（こ/そ/あ）の用法の特徴を、現場指示 (deictic use) と文脈指示 (anaphoric use) の両方について、簡潔にまとめなさい。その上で、以下の事例に見られる「あれ」の用法が通常の指示詞の用法と異なる点を記述しなさい。

((話者 A が話者 B の仕事について尋ねたところ、話者 B はガス会社でプラスチックの研究をしていると言う))

話者 A: プラスチックって、ガスの会社とどう関係があるの?

話者 B: → 最近、あれなんですよ。ガス管って今まで鉄だったでしょ?

話者 A: うん。

話者 B: それがどんどんプラスチックになりつつあるんですよ。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学分野

試験科目 科目

問題3

日本語教育において、命令文は初級で教える必要はないという考え方がある。これについて意見を述べなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学分野

試験科目 科目

問題 4

次の文章は日本語学習歴約 3 か月の日本語学習者の作文である。この作文の時制表現の間違いを直し、なぜそのように直すのかを説明しなさい。(時制表現以外の間違いは修正不要)

私は湖南大学の日本語の 1 年生。大学生活はとてもおもしろかったです。最初、私は一人です、一週間のあとで、私はたくさんの友達でした。食堂の料理はおいしかったです、寮はきれいでした。友達はとても親切でした。私は毎日忙しでした。運動会を参加。私は勉強の以外、ときどき本を読みますで、インターネットをしました。学習はちょっと大変です。さいしゅう、聴解は難しいでした。でも、三週間のあとはそんなに難しくなかったですね。私は毎日楽しいです。

(湖南大学学習者中間言語コーパスより)

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学分野

試験科目 科目

問題 5

A) 日本語の「シテイル」が表す意味は、動詞の語彙的な意味によって基本的に異なる。下記の例を参考にしながら、どのような動詞の場合にシテイルが当該の意味になるのかを説明しなさい。

- (1) 窓が開いている。
- (2) 田中さんはご飯を食べている。
- (3) 太郎は外で遊んでいる。

B) 上で述べた動詞のタイプと、「自動詞」と「他動詞」という分類は、どのような関係があるか、簡単に論じなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 日本語教育学分野

試験科目 科目

問題6

言語の研究には、実例を用いた研究と作例を用いた研究がある。それぞれのメリットとデメリットについて論じなさい。

大学院入学試験問題
(一般入試・社会人入試)

人文学 専攻

問題種別 専門試験

分野・専門 応用日本語学

試験科目 科目

※以下の問題 1 は全員解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。

問題 1 以下の (1) ~ (7) の中から 4つを選び、説明せよ。その際、必要であれば具体例をあげること。

- (1) 学習者オートノミー
- (2) フラッシュカード
- (3) 形成的評価
- (4) フォーカス・オン・フォーム
- (5) 技能実習生
- (6) 陳述副詞
- (7) バイリンガリズム

※以下の問題 2 ~ 4 の中から 2問を選び、解答すること。解答はすべて別紙の答案用紙に日本語で記すこと。答案用紙は 1 問につき 1 枚使用すること。答案用紙には、選んだ問題の番号を記入すること。

問題 2 社会言語学の観点から言葉を変化させる要因について論ぜよ。例えば、「食べる」と言いたい場合、どのような要因と言い方が関連するかについて、変化させた形をあげて説明せよ。

問題 3 対面の授業における学習者中心の日本語教育を推進するために、LMS (Learning Management System、学習管理システム) の活用法について取り上げ、その効果について説明せよ。

問題 4 日本語の授業の指導案は、「導入」「展開 (メインコンテンツ)」「まとめ」という形式で立案されることが多い。このうち、「導入」で行われる活動の具体例を 1 つあげ、その目的と意義について日本語教育、日本語教授法、教育学等の観点から説明せよ。